

学級活動学習指導案

題材名「インターネットとの上手な付き合い方」

令和4年12月2日（金）第5校時

5年教室

＜授業改善の視点＞

SNS 上のコミュニケーションにおけるトラブル事例を基に、その原因について考えたり、改善策について自分の考えと友達の考えを比較して考えたりすることで、SNS 上のコミュニケーションにおける留意点について、意思決定することができるだろう。

I 題材の構想

1 題材の目標（育成を目指す資質・能力）および児童の実態

	単元の目標	児童の実態（名）
知識及び技能	・インターネットのルールやマナーといった、インターネットの正しい使い方について、自己の生活上の課題に向けた取り組みを行うことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	(削除)
思考力、判断力、表現力等	・自己のインターネットの使い方に関する課題を認識し、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができるようにする。	(削除)
学びに向かう力、人間性等	・自らの生活をよりよくするために、他者と協働してインターネットの使い方に関する課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。	(削除)

2 評価規準

【知識・技能】

- ・インターネットのルールやマナーといった、インターネットのよりよい使い方について、自己の生活上の課題に向けた取組を行うことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 (2)イ

【思考・判断・表現】

- ・自己のインターネットの使い方に関する課題に気づき、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定して実践している。 (2)イ

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自らの生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、インターネットの正しい使い方に関して自主的に課題解決に向けた取組を行い、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

3 人権教育とのかかわり

近年の情報化社会の急速な発展により、子供たちをとりまくインターネット環境も大きく変化している。SNS を使ったコミュニケーションが身近になり、時間や場所を問わず様々な人々とつながることもできるようになった。しかし一方で、SNS 上のいじめやトラブルも多発している。それは、互いに相手の表情や話し方などの感情が伝わらない中で、文字の情報だけが相手に送られることによって、受け取る内容に誤解が生じてしまうことが原因の一つであると考えられる。

そこで本題材を通して、インターネット上と社会生活上のコミュニケーションは異なる特性があることを理解させるとともに、相手の気持ちを考えた思いやりのある行動はネットワーク上でも必要であるということを確認し、日常的な行動の中で常に相手の気持ちを思いやる行動を取ることができるような態度について、意思決定をさせたい。

【育てたい能力・態度】

- 知性：コミュニケーションツールとして便利なインターネットも、気を付けて使わないと他人を傷つけてしまうことがあることを知り、人権を尊重することの大切さを理解する。
- 判断力：インターネットを使用する際、内容をよく精査してから発信するなど、相手の存在を認める大切さについて考えることができる。
- 実践力：インターネット上のコミュニケーションにおいて、自己の意思決定を生活の中で実践しようとする。

題材計画および指導方針（指導に生かす評価は○、評定に用いる評価は●）

週	学習活動	評価			指導方針・ICT活用
		知	思	主	
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> インターネットや SNS 使用に関するアンケートの結果をまとめ提示し分析する。 すぐに連絡が取れる、交流の場が広がるなどの利便性がある反面、やりとりの中で他人を傷つけてしまうこともあるなど、SNS の特性を理解する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> SNS について、児童の使用経験や思いなどを「事前にアンケート」で取ることで、話題にし、意識を向けさせる。 群馬県ネットリテラシー教材「インターネットの光と影を知ろう！」や、NHK for School の動画などを活用し、情報モラルについて理解できるようにする。
<p>題材の課題 SNS で友達とコミュニケーションをとるときに、大切にしなければいけないことは何だろう。</p>					
本時の活動	<ul style="list-style-type: none"> 言葉だけでは本当に思っている気持ちが伝わりにくいことがあるということを知る。 SNS 上でのやりとりにおいて大切にしたいことについて考え、個人目標を決める。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 「やばい」「かわいくない」などの言葉を例に挙げ、言葉だけではその真意が伝わりにくいこともあることを知るができるようにする。 ロイロノートの共有ノートを活用することで、「友達と話し合いながら一緒に考える中で、他の意見を知ったり、付け加えて新しい考えを出したりする」ことができるようにする。
事後の活動	<ul style="list-style-type: none"> 決定した目標について、家庭で話し合う。 定期的に振り返りを行い、意思決定したことを実践していく。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の協力も不可欠であるため、学級便りなどで内容を周知する。 意思決定した目標について自己の行動が伴っているかどうか定期的に振り返ることで、SNS 上だけに限らず、普段の日常生活でも同じように良好なコミュニケーションを取ることを意識して生活できるようにする。

II 本時の学習

1 ねらい

SNS における友達とのコミュニケーションにおいて、大切にすべきことについて意思決定することができる。

2 人権教育の視点

○知 性：対面ではない SNS 上でのコミュニケーションにおいても、相手の気持ちを考え人権を尊重することが大切だということを理解する。

○判断力：SNS 上でメッセージを送る際に、知らぬ間に相手を傷つけてしまうことのないように、日常生活と同じように相手のことを考えて行動する大切さについて考えることができる。

学習活動	指導上の留意点・ICT活用
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の課題をつかむための事例を確認する。 T：「昨日のテレビやばいよね」 この文章から、どんな印象を受けますか。 S：ものすごく面白い。 S：変な内容だったのかな、と思う。 S：「やばい」だけじゃよくわからない。 <p><めあて></p> <ul style="list-style-type: none"> SNS 上でのコミュニケーションで大切なことは何だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例を提示することで、一つの言葉でも、相手によってその意味の受け止め方が変わることを知ることができるようにする。 コミュニケーションとは、相手を理解するためお互いの気持ちを伝え合うことだということを確認する。
<p>2 さぐる。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ、感動した思いが伝わらなかったのか、その理由を個人で考える。 T：なぜ正しく伝わらなかったのでしょうか。 S：「やばい」という言葉には色々な意味があるから。 S：人によって受け取り方が違うから。 他の SNS トラブルの事例を確認する。 T：実は、このようなことが原因で、トラブルになってしまった例があります。 これらは、この文章を送った相手に怒って、喧嘩 	<ul style="list-style-type: none"> 事例を提示することで、言葉には様々な意味に捉えることができるものが多いことを知るができるようにする。 「その話、面白くない」「それ、かわいくない」の2つの事例は、文字だけの情報として否定的な意味で捉えさせるため、口には出さずに、

<p>になってしまった例です。 「その話、面白いくない」 「それ、かわいくない」 S：意味がよく伝わらない。 S：悪口だから、怒って当たり前。 T：「その話、面白いくない？」「それ、かわいくない？」 だったら、どうですか？ S：それなら怒らなかった。意味が伝わる。 T：「昨日のテレビやばいよね」 「その話、面白いくない」 「それ、かわいくない」 この3つに共通していることは何でしょうか。 S：色々な意味にとれる言葉を使って、送っている。 S：受け取る人がどう思うか、その人によってわからない。 S：お互いにいやな気持ちになっている。</p> <p>3 見付ける。 (20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 喧嘩にならないように楽しく SNS でコミュニケーションを行うためにはどうしたらいいか、個人で考えた後、グループで意見交流をする。 <p>T：どうすれば喧嘩にならなかったのでしょうか。楽しく SNS でコミュニケーションをするには、どうしたらいいか考えましょう。</p> <p>S：送る前に、一旦落ち着いてから読み返して内容を確認するのがいいと思う。</p> <p>S：自分の考えを詳しく書いたり、分かりやすい言葉で書いたりするのがいいと思う。</p> <p>S：顔は見えないけど、相手がいることを常に忘れずにいたい。</p> <p>S：イヤなことが送られてきてもすぐ怒らずに、相手に確認するようにする。</p> <p>T：気を付けていても、誤解されてしまったらどうしますか。</p> <p>S：文字だけだと伝わりづらいから、電話するか直接会って話したり謝ったりする。</p> <p>S：自分たちでどうしても解決できなそうだったら、身近な大人に相談する。</p>	<p>黒板に掲示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「その話、面白いくない？」「それ、かわいくない？」は、肯定的な意味で捉えさせるため、口に出して児童に伝える。 文字のみの文章は自分の感情が正しく反映されづらく、思いが伝わりにくいことがあることを確認する。 意味が正しく伝わらないことで、送った人も受け取った人も、いやな気持ちになることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> どうすれば喧嘩にならなかったのかを考えることで、SNS でコミュニケーションをする時に大切にすることを考えられるようにする。 グループの交流活動に入る前に、個人で自分の考えをもつ時間を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ロイロノートの共有ノートを使い、他のグループの意見も参考にしながらグループで話し合うことで、他の意見を知ったり、付け加えて新しい考えを出したり、自分の考えを深めたりすることができるようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> SNS においても、相手がいることを意識づけることで、相手意識をもったり相手が傷つかないような言葉を選んだりすることができるようにする。 コミュニケーションは SNS を送る側と受け取る側の双方がいることに気付かせることで、SNS でメッセージを受け取る側として、気を付けることも考えるようにする。 万が一、相手に誤解されてしまったらどうすべきかということにも言及し、その時の対処法を考えてトラブルを未然に防ぐことができるようにする。
<p>4 決める。 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS 上でのやりとりにおいて大切にしたいことについての個人目標を決め、ロイロノートで記入して提出する。 数名の児童が、自分の考えを全体で発表する。 <p>T：SNS でコミュニケーションをとる時に、どんなことに気を付けようと思いますか。</p> <p>S：伝えたいことがきちんと伝わるように！や？を付けたり分かりやすく書いたりする。</p> <p>S：送る前に、一度読んでから送る。</p> <p>S：相手がイヤな気持ちにならないように、気を付けて送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を通して、SNS 上でやりとりをする際にどんなことに気を付けなければならないのかを考え意思決定することで、これからの生活に生かせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】 【思考・判断・表現】（発言・ICT 端末の記録） グループや全体での話し合いを基に、SNS でメッセージを送る際に気を付けることについて意思決定している。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> SNS においても楽しくコミュニケーションを取るためには、相手の気持ちを大切にすることが重要であることを確認する。
<p><振り返り>（視点：学んだこと、これからしたいこと）</p> <p>T：今日の学習を通して学んだことは何ですか。</p> <p>S：友達が言っていたように、落ち着いて読み返して、よく考えて確認してから返信することが大切だということが分かった。</p> <p>S：相手に伝わるように、詳しく書いたり分かりやすい言葉を使ったりすることが大切なんだな。</p>	

板書計画

④ SNS 上でのコミュニケーションで、大切なことは何だろう

昨日のテレビやばいよね

意味が正しく
伝わっていない

その話、おもしろくない

それ、かわいくない

悪口だから
怒って当たり前

SNS で大切なこと

- ・送る前に落ち着いて読み返して内容を確認する。
- ・自分の意見は詳しく書く。わかりやすく書く。
- ・相手がいることを忘れないようにする。
- ・誤解されてしまったら、あやまる。

なぜ？

- ・相手によって受け止め方が違う
- ・自分の気持ちがきちんと伝わっていない

お互いにイヤな気持ち